



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社メディパルホールディングス  
 コード番号 7459 URL http://www.medipal.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 秀一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 左近 祐史 TEL (03)-3517-5171  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	810,928	1.0	12,187	5.3	15,644	7.9	7,869	△3.0
2019年3月期第1四半期	803,243	2.9	11,572	33.6	14,499	21.8	8,112	41.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 3,768百万円 (△73.2%) 2019年3月期第1四半期 14,085百万円 (11.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	35.37	33.30
2019年3月期第1四半期	36.13	34.04

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	1,638,505	591,088	30.2	2,222.07
2019年3月期	1,617,911	592,848	30.7	2,233.52

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 494,332百万円 2019年3月期 496,879百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	18.00	-	20.00	38.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	20.00	-	20.00	40.00

(注) 2019年5月15日に公表した配当予想に変更はありません。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,638,000	3.5	24,100	4.3	30,600	4.9	14,800	△4.4	66.53
通期	3,242,000	1.9	51,000	2.4	65,000	1.7	38,800	12.9	174.41

(注) 2019年5月15日に公表した通期連結業績予想を本日(2019年7月31日)変更いたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	244,524,496株	2019年3月期	244,524,496株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	22,059,745株	2019年3月期	22,059,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	222,464,875株	2019年3月期1Q	224,562,037株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期連結業績予想の修正については、本日（2019年7月31日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは「医療と健康、美」の流通で社会に貢献する新しい卸の形をめざし、社会環境の変化を見据えたビジョン「2022メディパル中期ビジョン Change the 卸 Future - 未来への変革」を新たに策定し、2019年5月15日に発表いたしました。既存事業のさらなる革新を進めるとともに、新規事業は「創造」から「拡大」へとステップアップいたします。同時に、様々な分野の企業とのパートナーシップを通じて社会と顧客に貢献する新たな枠組みを構築し、収益基盤のさらなる拡大と持続的な成長を実現してまいります。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高8,109億28百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益121億87百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益156億44百万円（前年同期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益78億69百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等の販売は、抗がん剤をはじめとする新薬が伸長したことなどにより、堅調に推移いたしました。

本事業では、国民にとって安全・安心な医療を支える社会インフラとして、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を図るべく、卸機能を最大限に発揮するためのさまざまな取組みを行っております。

物流基盤の強化については、高品質・高機能かつ災害対策を施したALC※1・FLC※2の全国展開を進めており、2019年6月、当社の完全子会社である株式会社メディセオ（東京都中央区）において「関東ALC」（埼玉県加須市）が新たに稼働いたしました。また、厳格な温度管理が必要な再生医療等製品などを安全・安心・効率的にお届けする目的で、超低温を含む全温度帯に対応できる物流プラットフォームを構築しております。

営業面の強化については、約2,300名のMR認定試験合格者をAR※3として任命し、高い専門知識とスキルを活かした情報提供活動に取り組んでおります。

デジタルヘルスケア分野での新たな取組みについては、メディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区）と、その子会社である株式会社Doctorbook（東京都千代田区）との協業により、医療情報ポータルサイト「Clinical Cloud by MEDIPAL」を展開し、医療従事者へ最先端の医療情報を提供しております。

また、厚生労働省が策定した「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」に基づき、個々の製品特性と価値に見合った価格交渉を行っております。

さらに、2019年4月より信頼性統括部を設置し、医薬品の適正使用の推進、並びに高品質の流通管理の実現に努めております。

これらの結果、医療用医薬品等卸売事業における売上高は5,318億95百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は52億39百万円（前年同期比27.3%増）となりました。

#### [用語解説]

- ※1 ALC（Area Logistics Center）とは、医療用医薬品や医療材料などを扱う高機能物流センターで、主に調剤薬局、病院、診療所に商品を供給しております。
- ※2 FLC（Front Logistics Center）とは、ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点であります。
- ※3 AR（Assist Representatives）とは、MR認定試験に合格したMS（医薬品卸売業の営業担当者）や薬剤師などに付与した社内呼称であります。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、女性の社会進出など、生活スタイルの変化にあわせた付加価値商品は依然として堅調ながらも、気候要因による季節商材の不調や、インバウンド消費の環境変化の影響を受けることとなりました。また、業界全体の成長を妨げかねない人手不足は、人件費や物流費の高騰を伴い、随所においてその影響がさらに大きくなっております。

このような環境の中、当社の連結子会社である株式会社PALTAC（大阪市中心部）では、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで提供する中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化をめざした取組みを行っております。また、小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化、及び安心・安全で高品質・ローコスト物流機能の強化を図り、平時はもとより有事の際にも「安定供給」できる体制により、小売業ひいては消費者のみなさまへローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

今期は、将来の事業基盤強化に向けた取組みとして、首都圏での出荷能力増強と、労働人口減少を見据え開発を進めている、AI・ロボット等を活用した新物流モデルの展開による飛躍的な生産性向上を目的とした

「RDC※埼玉」（埼玉県北葛飾郡杉戸町／2019年11月稼働予定）の建設などを計画どおりに進めております。

これらの結果、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における売上高は2,626億33百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は62億52百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

[用語解説]

※ RDC（Regional Distribution Center）とは、化粧品・日用品、一般用医薬品などを扱う大型物流センターで、小売業に商品を供給しております。

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

動物用医薬品の販売は、畜産向け市場においてワクチンや飼料添加物の積極的な取組みを行ったこと、また、コンパニオンアニマル※向け市場における独自の動物病院向けWEB発注情報システム「MP+（エムピープラス）」の利用拡大や、スキンケア商品の専売などにより、順調に推移いたしました。

食品加工原材料の販売は、提案営業の推進により大手顧客との取引が拡大し、順調に推移いたしました。

これらの結果、動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業における売上高は173億12百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は5億57百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

[用語解説]

※ コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	213,025	205,237
受取手形及び売掛金	686,885	713,070
有価証券	18,770	18,770
商品及び製品	145,819	153,889
その他	71,494	73,862
貸倒引当金	△592	△594
流動資産合計	1,135,402	1,164,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	99,518	100,711
土地	118,348	120,644
その他(純額)	36,315	36,197
有形固定資産合計	254,182	257,553
無形固定資産		
その他	14,093	13,765
無形固定資産合計	14,093	13,765
投資その他の資産		
投資有価証券	190,599	179,982
その他	24,916	24,282
貸倒引当金	△1,284	△1,313
投資その他の資産合計	214,232	202,951
固定資産合計	482,508	474,269
資産合計	1,617,911	1,638,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	869,647	888,399
短期借入金	2,500	17,500
1年内返済予定の長期借入金	5,950	5,477
未払法人税等	11,119	4,201
賞与引当金	8,445	5,869
返品調整引当金	600	594
その他	34,354	37,398
流動負債合計	932,617	959,440
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,529	30,491
長期借入金	3,908	2,620
債務保証損失引当金	170	154
退職給付に係る負債	19,754	19,675
その他	38,083	35,034
固定負債合計	92,445	87,976
負債合計	1,025,062	1,047,416
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	134,362	134,362
利益剰余金	321,242	324,662
自己株式	△30,469	△30,469
株主資本合計	447,533	450,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,408	57,369
繰延ヘッジ損益	2	△18
土地再評価差額金	△14,027	△14,027
為替換算調整勘定	418	493
退職給付に係る調整累計額	△455	△436
その他の包括利益累計額合計	49,346	43,379
非支配株主持分	95,968	96,755
純資産合計	592,848	591,088
負債純資産合計	1,617,911	1,638,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	803,243	810,928
売上原価	746,317	753,704
売上総利益	56,926	57,223
返品調整引当金戻入額	607	600
返品調整引当金繰入額	666	594
差引売上総利益	56,866	57,229
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	17,639	17,049
福利厚生費	3,390	3,298
賞与引当金繰入額	4,153	4,062
退職給付費用	1,085	1,078
配送費	4,343	4,598
地代家賃	1,073	1,062
減価償却費	2,938	3,049
その他	10,669	10,841
販売費及び一般管理費合計	45,294	45,041
営業利益	11,572	12,187
営業外収益		
受取利息	44	44
受取配当金	887	900
情報提供料収入	1,942	2,001
不動産賃貸料	161	155
持分法による投資利益	—	290
その他	241	219
営業外収益合計	3,277	3,611
営業外費用		
支払利息	48	33
不動産賃貸費用	51	39
持分法による投資損失	234	—
その他	16	82
営業外費用合計	351	154
経常利益	14,499	15,644



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	30	0
投資有価証券売却益	2	4
ゴルフ会員権売却益	—	1
特別利益合計	33	6
特別損失		
固定資産除売却損	80	48
減損損失	—	79
投資有価証券評価損	65	40
事務所移転費用	—	252
その他	—	5
特別損失合計	146	427
税金等調整前四半期純利益	14,386	15,223
法人税、住民税及び事業税	10,080	4,471
法人税等調整額	△7,613	498
法人税等合計	2,466	4,970
四半期純利益	11,919	10,253
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,807	2,384
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,112	7,869

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	11,919	10,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,190	△6,243
繰延ヘッジ損益	31	△19
退職給付に係る調整額	△13	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	△235
その他の包括利益合計	2,165	△6,485
四半期包括利益	14,085	3,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,844	1,902
非支配株主に係る四半期包括利益	4,241	1,865

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	526,275	260,391	16,575	803,243	—	803,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	740	120	1	861	△861	—
計	527,016	260,511	16,576	804,105	△861	803,243
セグメント利益	4,115	6,906	450	11,471	101	11,572

(注) 1. セグメント利益の調整額101百万円には、セグメント間取引消去652百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△551百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	531,097	262,519	17,311	810,928	—	810,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	797	114	0	912	△912	—
計	531,895	262,633	17,312	811,841	△912	810,928
セグメント利益	5,239	6,252	557	12,049	138	12,187

(注) 1. セグメント利益の調整額138百万円には、セグメント間取引消去677百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△539百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社子会社である株式会社PALTACは、2019年7月26日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産（土地・建物）の譲渡を決議いたしました。

1. 譲渡の概要

経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため、以下の固定資産を2020年3月末日に譲渡することについて2019年7月29日に契約締結をいたしました。

なお、譲渡先及び譲渡価額等は譲渡先との取り決めにより開示を控えさせていただきますが、譲渡価額は競争入札による市場価格を反映した適正な価格での譲渡となります。

2. 譲渡資産の内容

資産の名称及び所在地	現況
RDC東京 土地：24,960.00㎡ 建物：28,046.98㎡(延床面積) (千葉県浦安市千鳥12番15他)	物流センター

3. 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象により、2020年3月期下期において親会社株主に帰属する当期純利益が3,800百万円増加する見込みです。